

福井県立大学 地域経済研究所

Research Institute for Regional Economics
Fukui Prefectural University



地域経済研究所

Research Institute for Regional Economics
Fukui Prefectural University



所長・特命教授
地域連携本部 副本部長

松原 宏

まつばら ひろし

経済地理学
理学博士
東京大学名誉教授

福井県立大学地域経済研究所は、2001年4月に誕生しました。比較的若い研究所といえますが、1989年9月に福井県が策定した「福井県立大学基本構想」ではすでに、「地域の産業の発展に貢献する学術研究を実践するため、学部や大学院の充実状況を考慮しながら附属研究所を設置する」ことが謳われています。その後、学部や大学院の充実を経て、1999年10月に地域経済研究所（仮称）体制検討会が発足し、2000年3月には検討結果がまとめられています。

そこでは、「本県の産業・地域社会を活性化させるために、固有の技術や文化に支えられた地域産業と地域経営について調査研究し、提言する専門機関の設置が早急に求められている」とされ、その必要性や機能に関して、(1)産・官・学のインターフェイス機能、(2)県内産業界と自治体のシンクタンク機能、(3)専門情報の収集・保管・公開・発信、(4)県内人材の育成・活用とネットワーク化の4点が挙げられています。

20年以上が経ち、地域産業や地域社会の状況が大きく変わるとともに、インターネットの発達で情報収集・発信の方法も刷新されましたが、設置当初の原点は変わらないように思います。特に、現在構想中の文系新学部も含め、「学部や大学院の充実状況」と研究所との関係をより強固にしていくことが重要だと考えています。多様で個性的な研究者の参画を得て、研究所としてのプロジェクトを戦略的に実施し、機関誌やフォーラム等を通じて成果を公表し、地域貢献の強化を図っていく所存です。

地域経済を掲げた国内で稀有の研究所として、地域に根差した調査研究を進めていくとともに、地域経済の理論や地域比較、地域政策等の研究に積極的に取り組み、日本の地域経済研究と地域政策をリードしていく役割を強化していきたいと考えております。皆様のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。



地域経済研究所の活動紹介

■ 地域経済研究フォーラム

2023年度は、以下のように、日本の産業立地政策（第1回）、地域イノベーション政策（第2回）、国土政策（第3回）を取り上げ、対面とオンラインの併用でフォーラムを開催し、県内はもとより、県外からも多数参加いただきました。第4回は、福井駅前の「ハピリンホール」にて、第5回は地域経済研究所の企業交流室にて、対面にて開催しました。

第1回：産業立地政策の現状と課題

—地域未来投資促進法のどこが変わる?—

第2回：ふくいの地域イノベーション

—これまでとこれから—

第3回：北陸圏広域地方計画と福井の課題

—国土形成計画のどこが変わる?—

第4回：北陸新幹線は福井をどう変えるか?

—地域経済・都市構造の変化予測—

第5回：ウェルビーイングを起点にしたまちづくり・

場づくりの福井及び世界の最前線



第2回フォーラム



第4回フォーラム



第5回フォーラム

■ グローバル地域研究セミナー

かつてはアジア経済部門があり、アジア経済フォーラムが開催されていました。2023年度からは、「グローバル地域研究セミナー」に衣替えし、第1回が12月に「海外立地の理論と実態の最前線」をテーマに開催されました。

■ 連携協定の締結

2024年1月24日に北九州市立大学地域戦略研究所と連携協定を締結しました。北九州市ではロボット産業の振興や環境未来都市、自治体DXなどの面で先進的な施策を展開していますので、シンポジウムの共催や人事交流などを通じて、地域政策の連携を進めていきます。

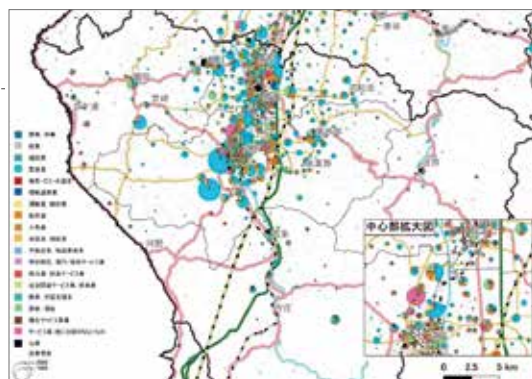


■ 研究プロジェクトの展開

地域社会の課題に関するテーマを取り上げ、複数の教員が共同で調査研究に取り組み、報告書を作成し、ホームページで公開します。

2023年度からの3年間では、「北陸新幹線の福井延伸に伴う地域経済・都市構造の変化と政策的対応」をテーマの1つとしています。

新幹線の報告書に掲載された図
丹南圏域における町丁別、産業大分類別の従業者数
(2021年) 出典:経済センサス活動調査



■ 「ふくい地域経済研究」の発刊 [年2回、9月および3月]

広く経済・社会・産業分野で、福井県についての研究、もしくは福井県に有益な研究を促進するため、刊行しています。投稿原稿は、研究論文、短報、フィールドノートに分けられ、また、「研究所短報」の「地域経済の概観」では、最新の福井県経済の状況をグラフをもとに解説します。ホームページ上でも最新版からバックナンバーまで公開しています。



ふくい地域経済研究

■ 「eメールマガジン」の配信

所属教員によるコラム、フォーラムやイベント情報の案内を毎月配信しています。ホームページから申込み受付中です。

■ 受託研究・共同研究の実施

経済団体、自治体などからの受託研究として、「カーボンニュートラルに向けた県内中小企業への情報提供」、「ウェルビーイングに関する県民アンケートの設計と分析」、共同プロジェクトとして「永平寺町学」などに取り組んでいます。受託研究、共同研究のお申し込みやご相談は、教員もしくは事務局までお寄せください。



「永平寺町学」の成果

■ 各種委員会・審議会・講演会・セミナーへの委員・講師派遣

産業立地、地域経済、地域政策、観光、まちづくりなど、さまざまな内容の委員会、講演会、セミナー等に、教員を委員や講師等として派遣します。また、RESAS(地域経済分析システム)やGIS(地理情報システム)、地域データの分析などの講習会についても、ご希望があれば事務局までご連絡ください。

福井県立大学 地域連携本部について

本学では2017年6月に「福井県立大学地域連携本部」を開設しました。

地域連携本部は、本学と地域との連携を進める全学的な組織で、自治体、企業、団体、研究機関など、地域からの相談を受け、学内各部署の教職員へつなぐとともに、本学の教育力・研究成果を地域へと発信し、新たな連携先の拡大を目指します。

連携本部では、地域経済研究所事務室に連携本部オフィスとしての機能を持たせ、随時地域からの相談を受け付けています。



教員紹介

産業立地や地域経済の振興、人口減少対策やウェルビーイングなど、地域課題解決に関わるシンクタンク機能といった地域経済研究所が担ってきた役割をより強化していきます。企業誘致戦略の策定や地域経済の活性化策、産業振興ビジョンなどの政策立案のお手伝いをします。

2024年度から新たなメンバーが加わり、ビッグデータを活用した空間情報の解析や地図化、地域の現場でのフィールドワークを活かした農業・農村振興、観光や地域交通の計画、まちづくり、農村計画など、より多面的な実態把握と政策形成に力を入れていきます。



教授

青木 和人

あおき かずと

空間情報学、地域政策、オープンデータ
博士(文学)

地理情報システムによる地域政策やオープンデータの研究をしています。これまで地方自治体での地理情報システムによる業務効率化や地域分析による地域政策立案、ハザードマップ作成などを行ってきました。また、公共図書館を情報発信拠点としたウィキペディアタウン開催など、オープンデータを用いたITによる市民協働活動であるシビックテック活動を行っています。



教授

フロレス漆間 アンドレア百合

ふろれす うるしま あんどれあ ゆり

都市地域論、環境デザイン論、都市地域計画学
博士(人間環境学)

都市と人間居住の形成と変容を中心に研究しています。都市・集落でのフィールド調査を通して、日本と海外における都市・地域政策、都市・地域計画、都市化、地域文化の交わりを探究してきました。最近の関心は、環境倫理と持続可能性理論を都市・地域研究に統合しています。特に、都市・集落の長期的な形成過程の特徴を活用し、促進することに関連するイノベーションに関心があります。



教授

佐々井 司

ささい つかさ

人口学、社会保障論
工学修士

人口学、社会保障論を専門とし、統計分析、社会調査を通じて、地域人口と社会経済情勢との関連について研究しています。前職は、厚生労働省の試験研究機関である国立社会保障・人口問題研究所です。



教授

前田 陽次郎

まえだ ようじろう

経済地理学、農業経済学、地域政策
博士(経済学)

酪農を中心とした農村地域の地域振興に関する研究を行ってきました。それ以外にも農産物輸出や農村の担い手問題、対馬をはじめとした国境地帯の地域振興やインバウンド観光など、国土周辺部の地域振興について広く研究しています。



准教授

高野 翔

たかの しょう

まちづくり、ウェルビーイング
Master of Arts

ウェルビーイングを深めるまちづくりの理論・実践・政策の研究をしています。特に、“居場所と舞台”という二つの場所・場づくりに注目しています。居住地域に居場所や舞台があることの人々の主観的ウェルビーイングとの関係を研究し、福井市を中心に居場所づくりや舞台づくりに寄与するまちづくり活動を行っています。



准教授

當麻 雅章

とうま まさあき

空間経済学
修士(経済学)

地域間の人口移動や地域の労働市場に関して実証研究を行ってきました。今後は、地域経済の活性化に向けた地域労働市場、産業集積、インフラ整備等のあり方について研究を進めていきます。政府統計だけでなく、新たなデータの使い方についても、研究を進めていきます。



准教授

森嶋 俊行

もりしま としゆき

経済地理学、観光地理学
博士(学術)

産業観光をめぐる企業と地域の関係について研究しています。特に工場や鉱山の跡地といった産業遺産の観光資源化に関心を持っています。福井特有の産業観光資源に着目し、地域の経済や社会のために、どのように活用すべきか提案したいと考えています。



ACCESS



京福バス

JR福井駅前より
大学病院線「県立大学」下車
(所要時間約30～35分)



乗用車

JR福井駅より約20分
北陸自動車道
福井北I.Cより約10分



場所と、時と、人とのつながりが、
未来の福井を支える。

福井県のすべてがキャンパス。



公立大学法人
福井県立大学
Fukui Prefectural University

各種セミナー・イベントのご案内、報告書・データベースのダウンロード、メルマガのご登録等はホームページから

→ <http://www.fpu.ac.jp/rire/>

地域経済研究所 福井

で

検索

福井県立大学地域経済研究所

〒910-1195 福井県永平寺町松岡兼定島4-1-1
TEL.0776-61-6000 (地域経済研究所：内線 6104,6105)
E-mail: keiken@fpu.ac.jp